

大島交流拠点施設（仮称）デザイン設計競技
登録番号 9



しゅうかいしょ
舟会拠

— ボートルーフを持つ交流拠点施設 —

対照的な二つの構造物を、素朴に組み合わせることによって、

二つの目標

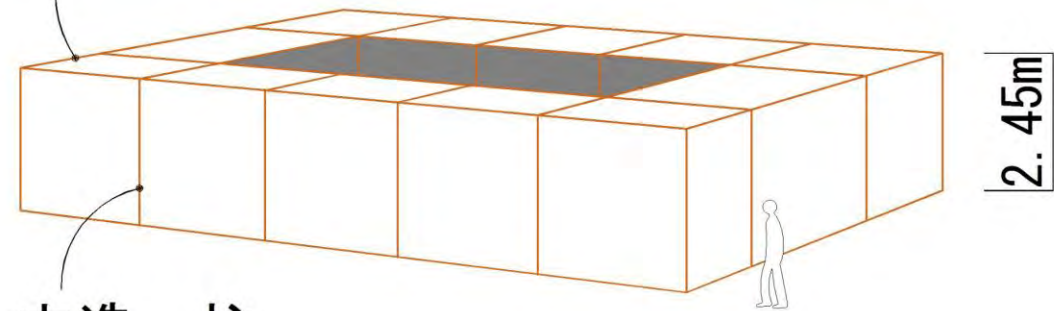
島民にとって : 親しみやすい、普段使いの場 (日常的な場)

観光客にとって : 大島訪問の満足度を高める、観光の足場 (非日常の場)

を

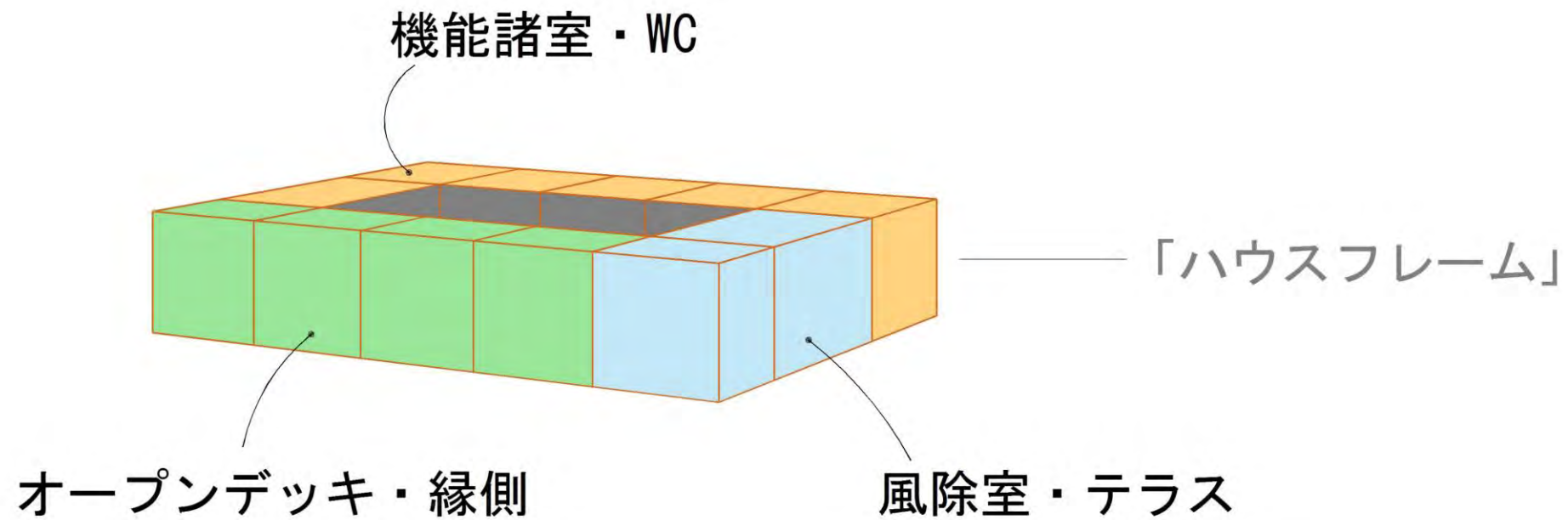
一つの施設のなかで、じょうずに同居させ、交流を育む。

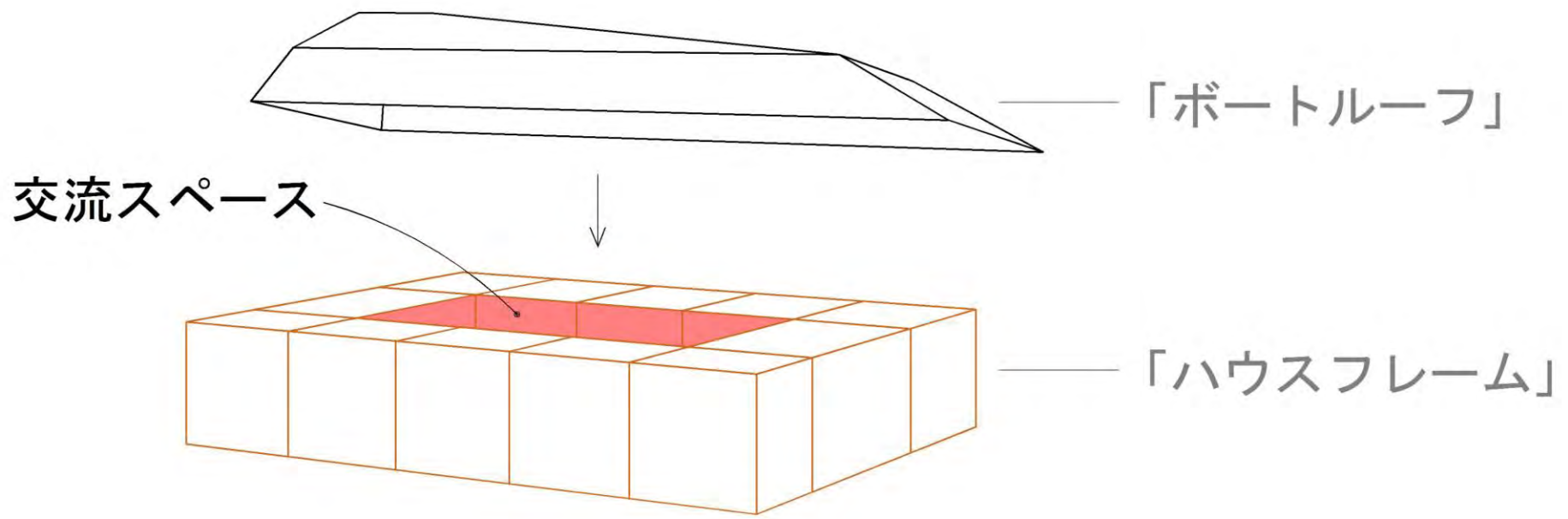
木造 梁



2.45m

木造 柱

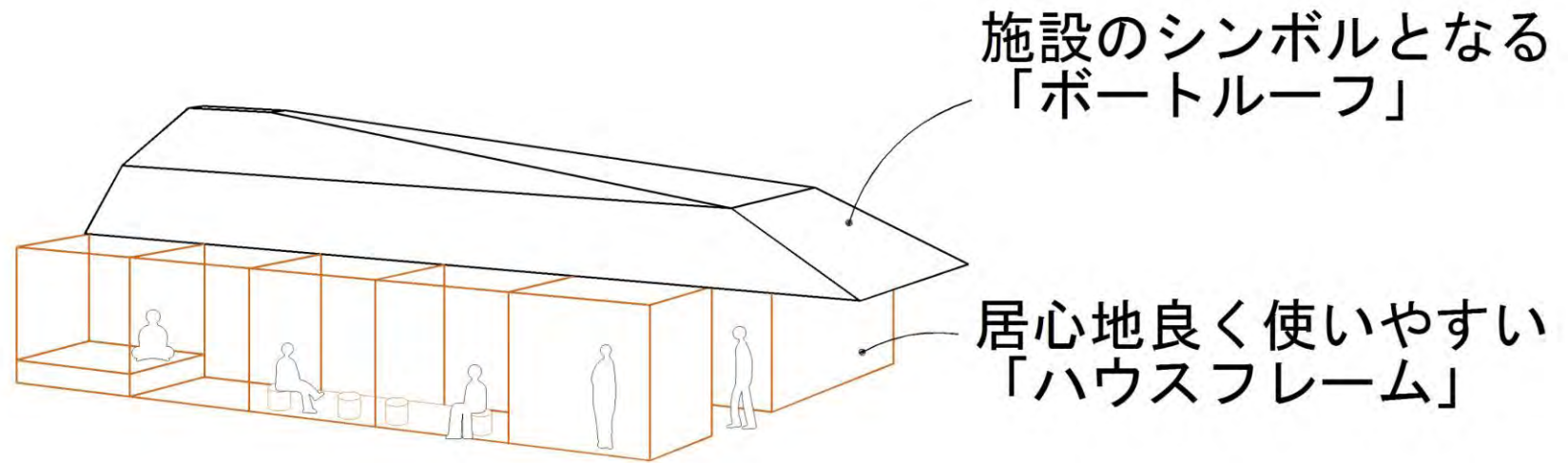




「ボートルーフ」

交流スペース

「ハウスメーム」



気持ちよい居場所、使いやすい機能室、

島の歴史をさりげなく表現する シンボリックな屋根・天井を持つ、

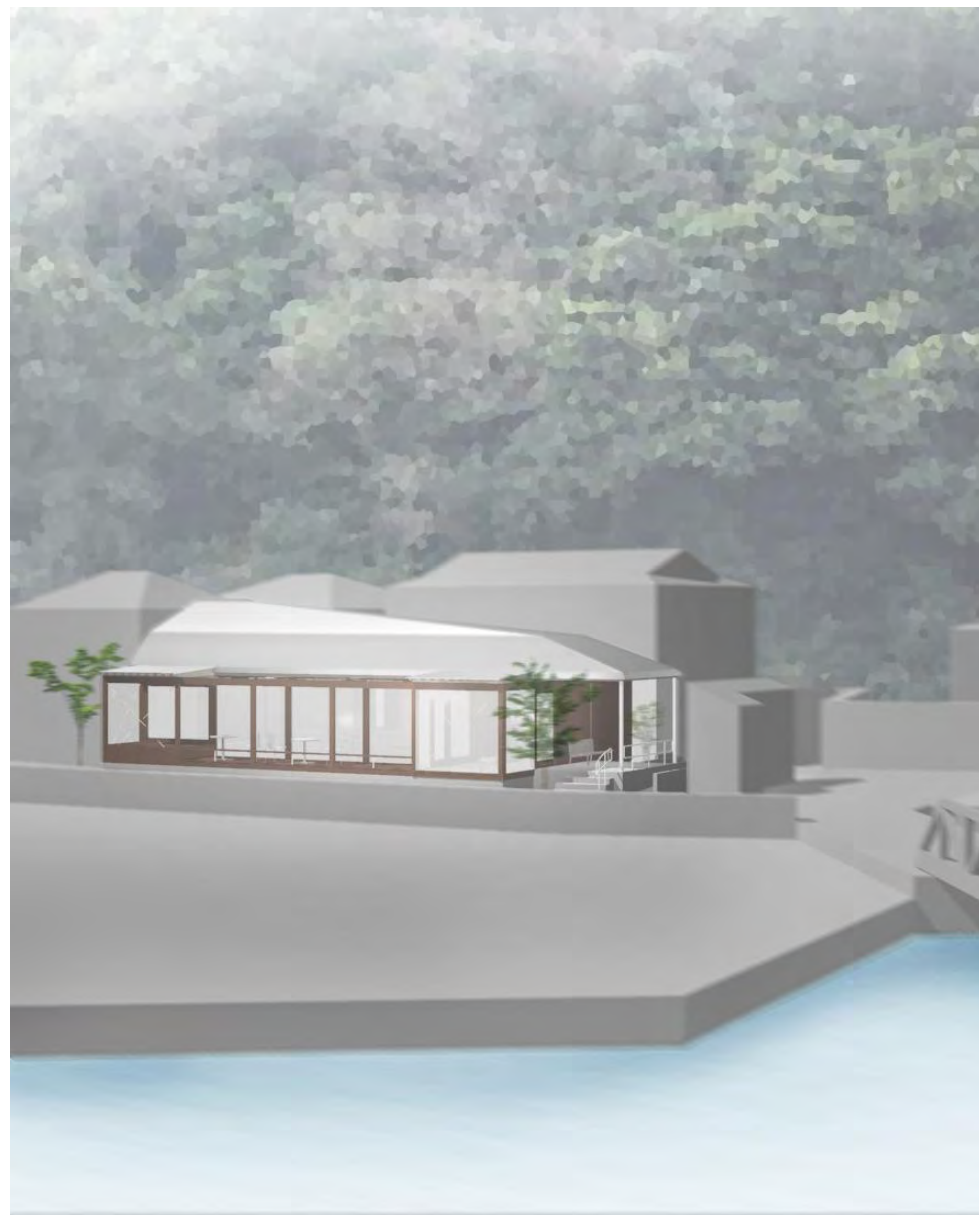
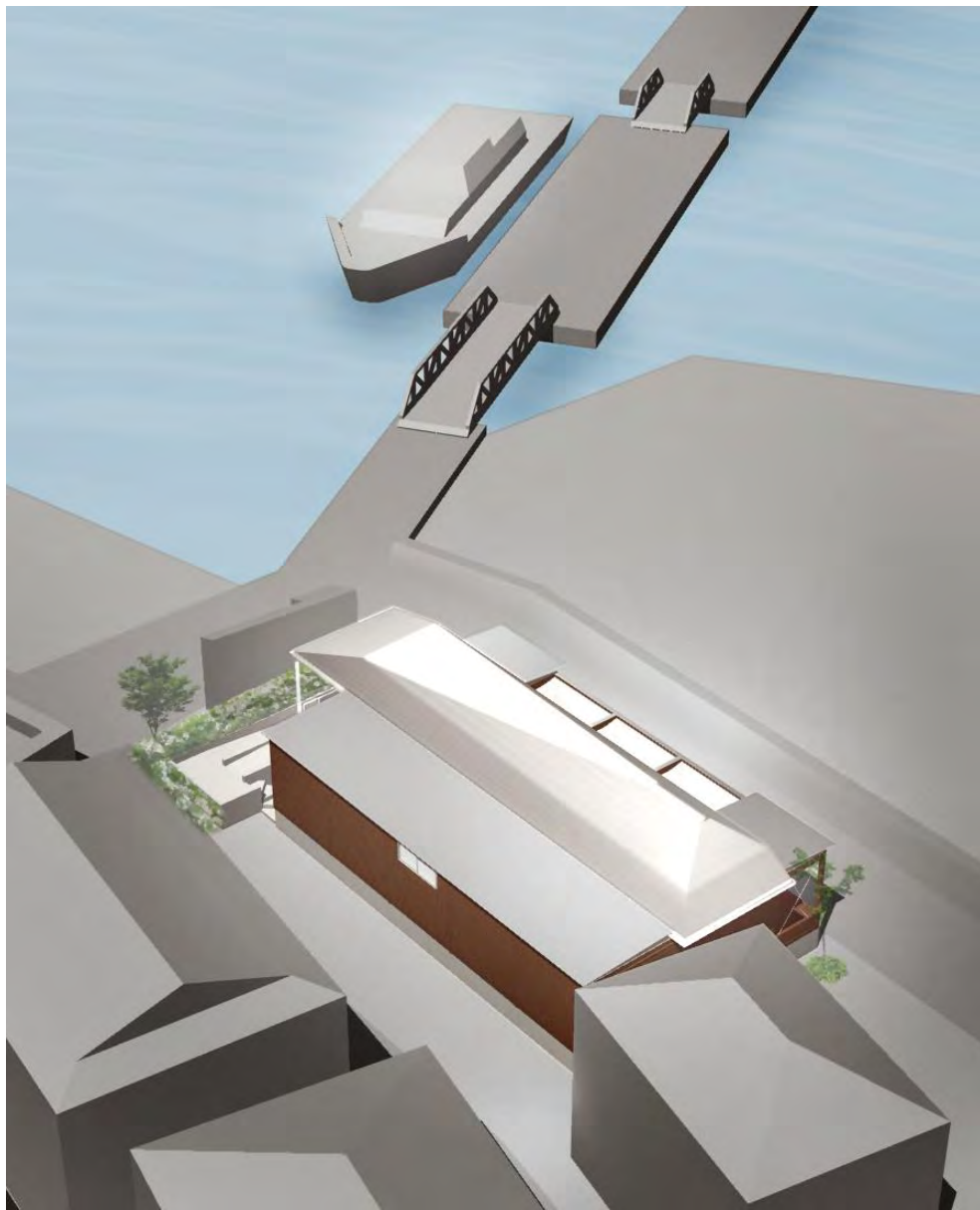
島民・観光客双方に親しまれる拠点を創造します。



住宅スケールの「ハウスフレーム」と、シンボリックな「ボートルーフ」の組み合わせによる、日常感と非日常感をあわせ持つ施設です。



「ボートルーフ」は、施工性を考慮したシンプルな形状。



島の風景になじむ「ボートルーフ」

- ・構造・規模 木造平屋建
- ・延べ面積 91.92㎡
- ・建築面積 106.83㎡

港湾施設・海

一般出入口は、隣家と反対側に集約

大島棧橋



(FL-900)
1,820
3,640
8,190
2,730
隣地 (民家)

市道
大島三王島線

2,730 2,730 2,730 2,730 2,730 2,730
16,380



平面図



来館者を歓迎する、テラス風のポーチ



風除室機能を持つテラス



賑わいと交流の中心。船底天井をもつシンボリックなスペース。



便利な畳敷きの小上がり



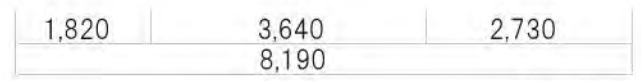
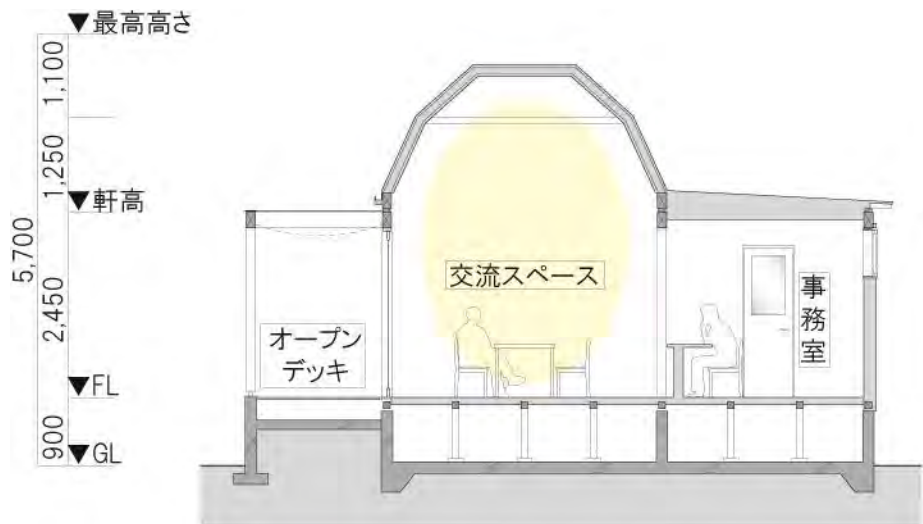
気持ちのよい憩いの場



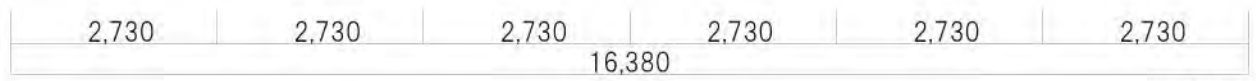
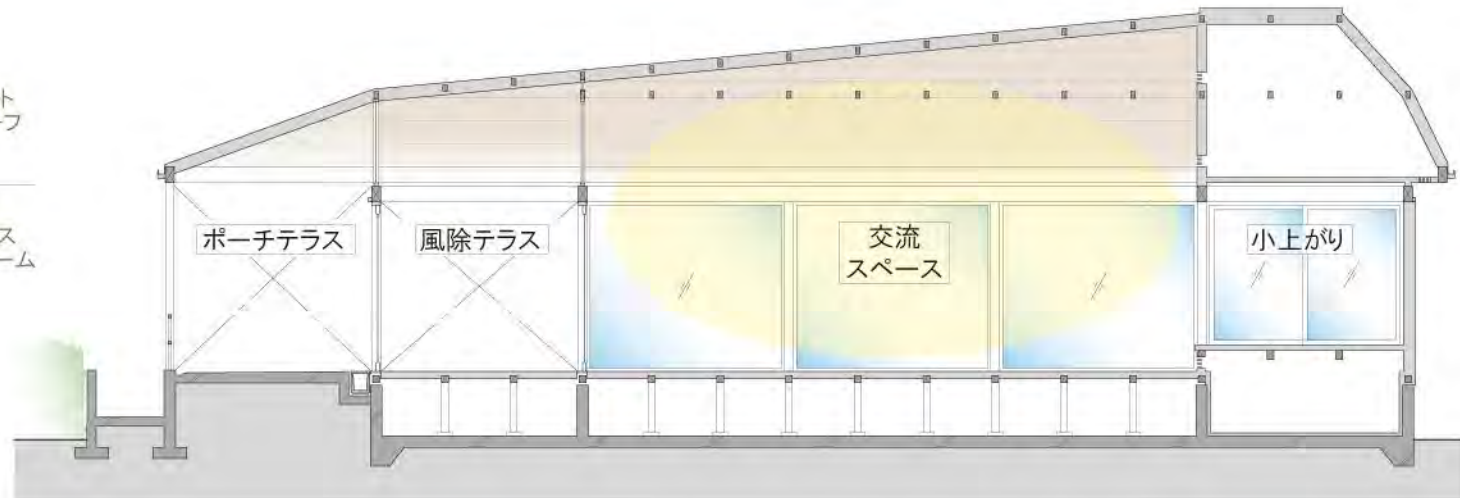
少人数でも管理しやすいコンパクトなプランニング



多様な状況に対応したWCと、便利な流し



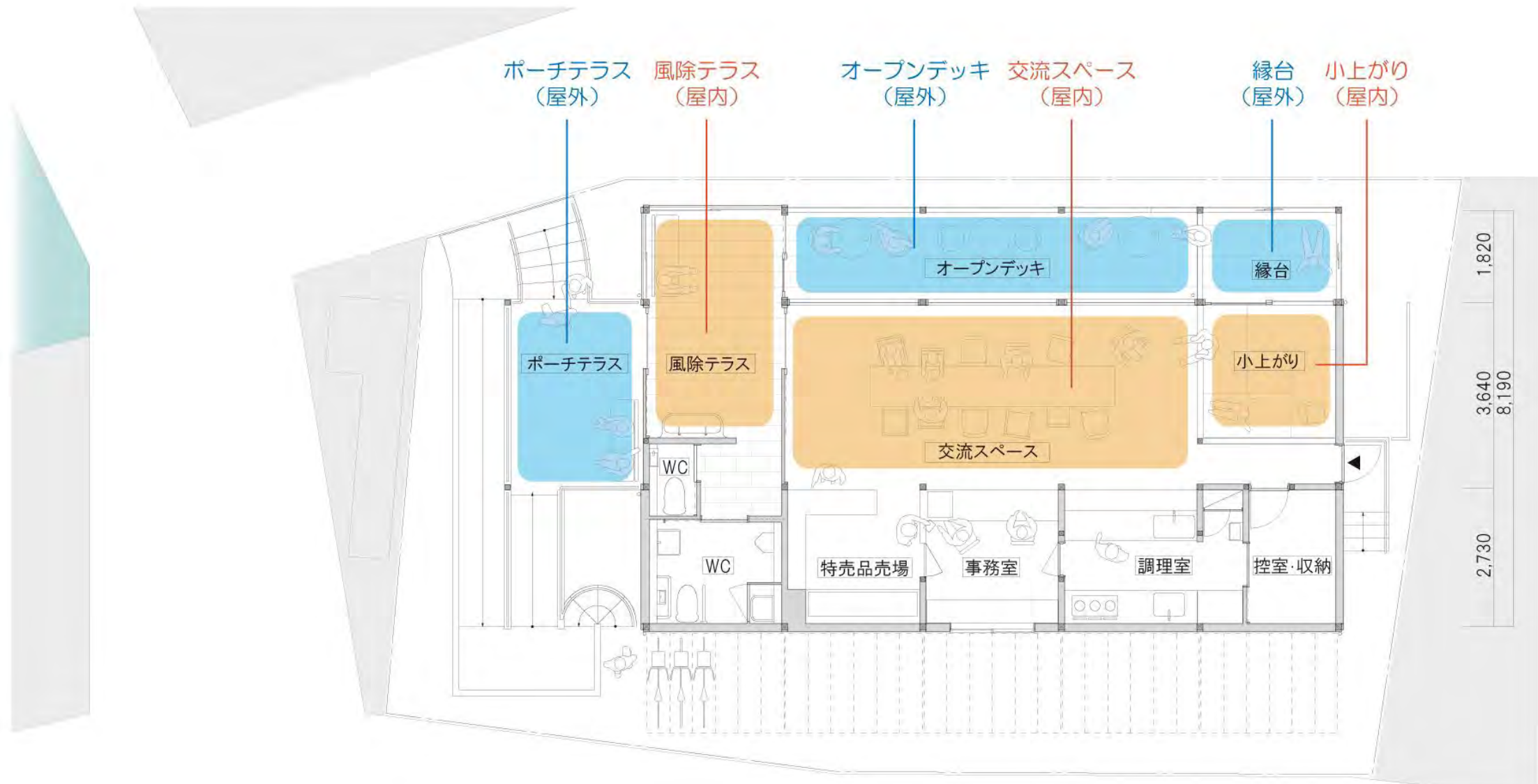
横断面図



縦断面図



大小の空間の組み合わせが、落ち着きと活気を同居させます。



屋内・屋外に、居場所をたくさん用意しています。

交流スペース



集いの中心。「木造和船」をイメージさせる船底天井に包み込まれた、シンボリック空間。

交流スペース



海に開き、天井の高い開放的な空間

交流スペース



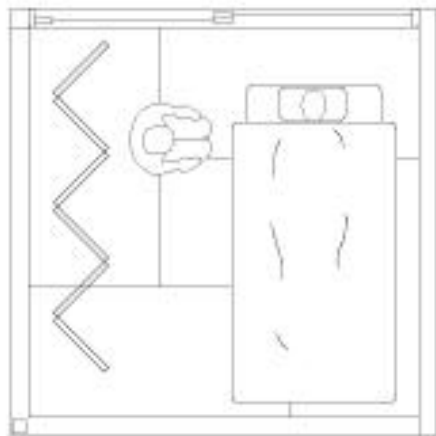
観光拠点に相応しい特別感と、
島民の普段使いに相応しい親しみやすさが共存する雰囲気

小上がり

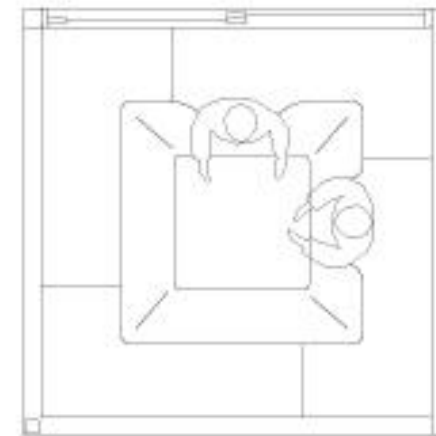


施設の使い勝手の幅を大きく底上げする 小上がり

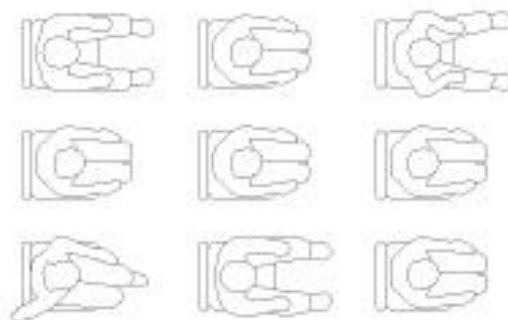
小上がり



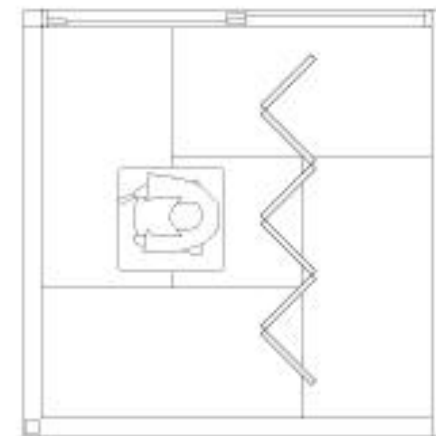
即席静養室として



冬季のこたつスペースとして



イベント時の舞台として

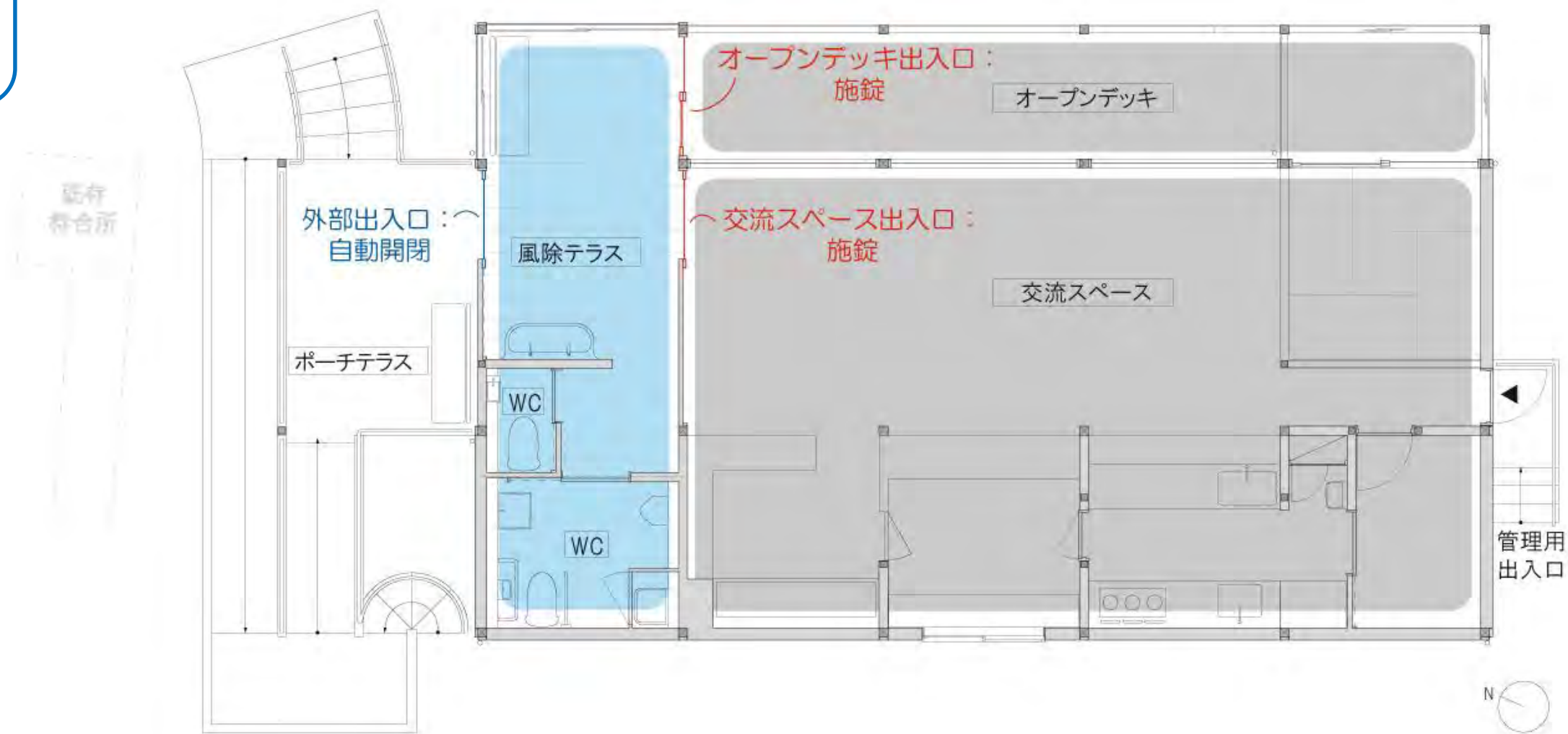


風除テラス



風除室機能を持つテラス

風除テラス



「風除テラス」単独で、乗船待合所として機能できます。

管理諸室

事務室

特売品売場

アイスクリーム ケースW750(カップ約200個)

飲料 ケースW600(COLD/HOT 500mlペットボトル 約120本分)

特産品 冷蔵ケースW900

一般 商品棚

特産品 商品棚

案内パンフレット類 棚

島内案内所

レンタサイクル受付
特売品売場レジ

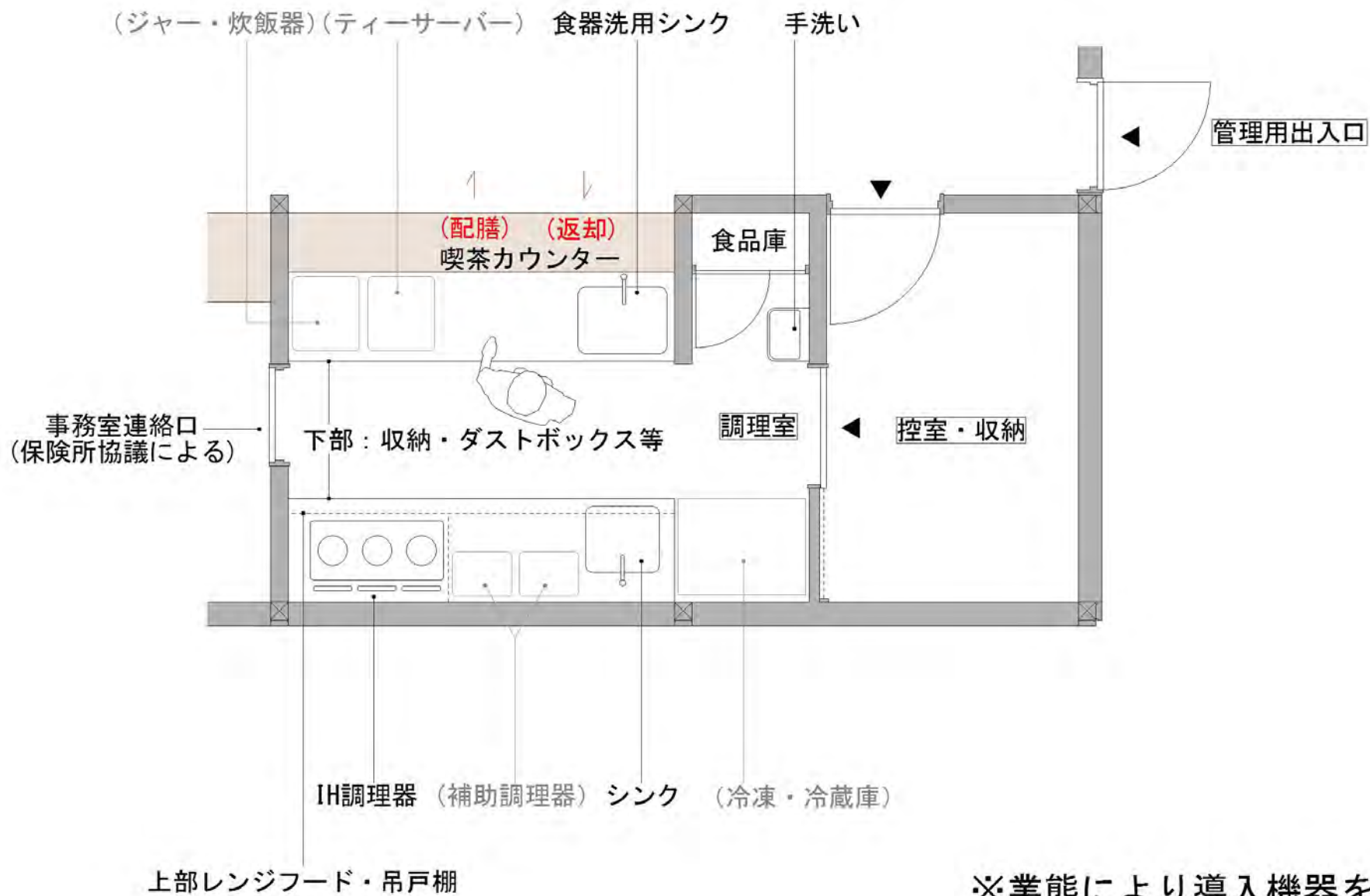
特産品
商品棚

特産品
商品棚

交流スペース側からも利用できます。

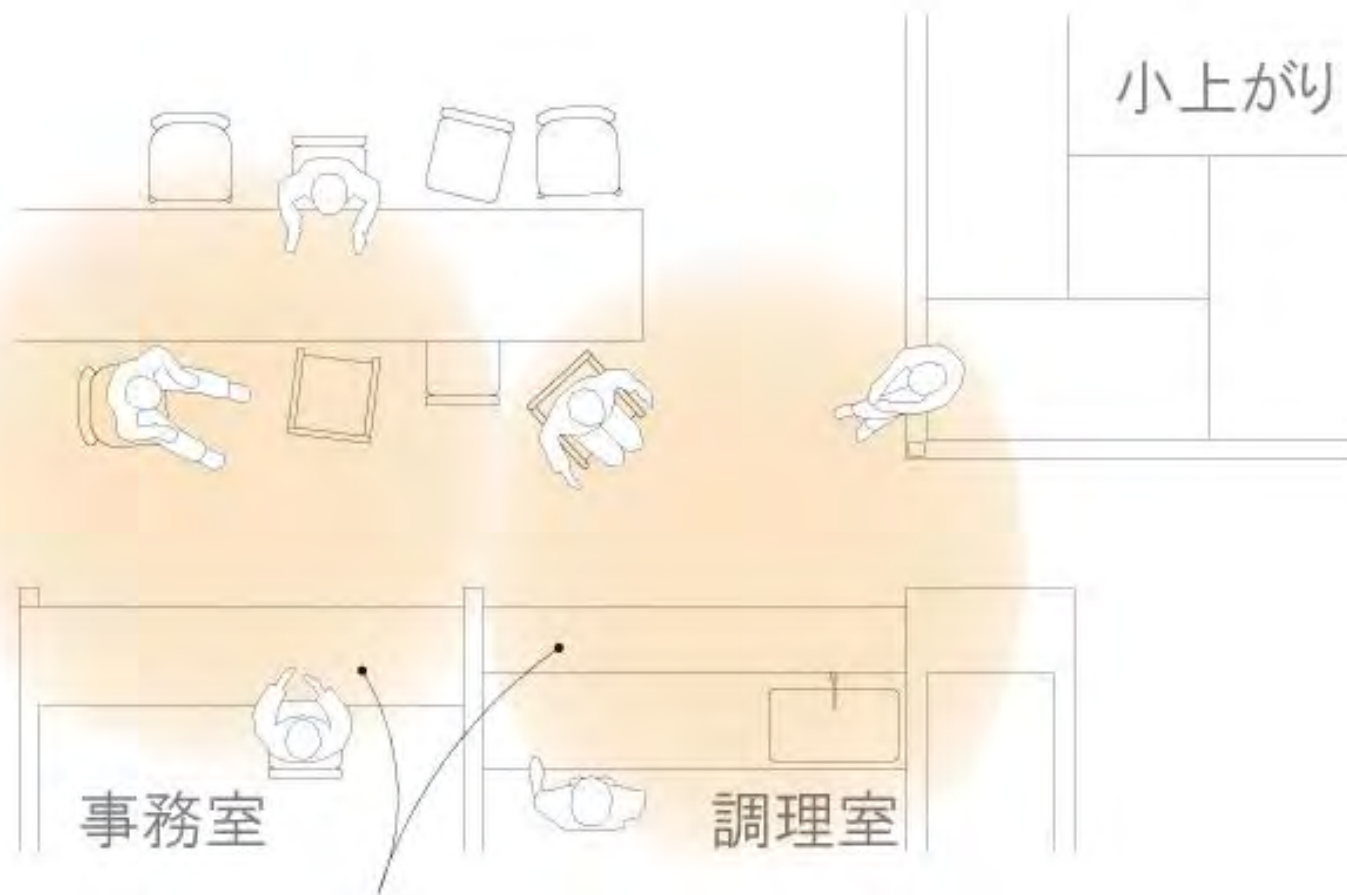
交流スペース

管理諸室



※業態により導入機器を調整します。

管理諸室



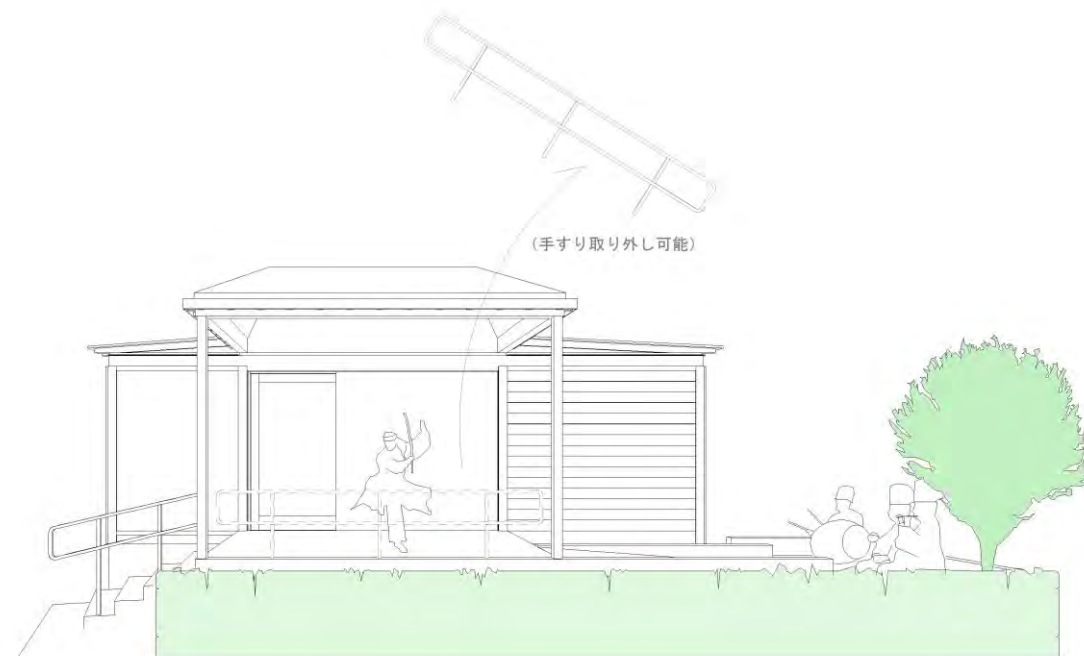
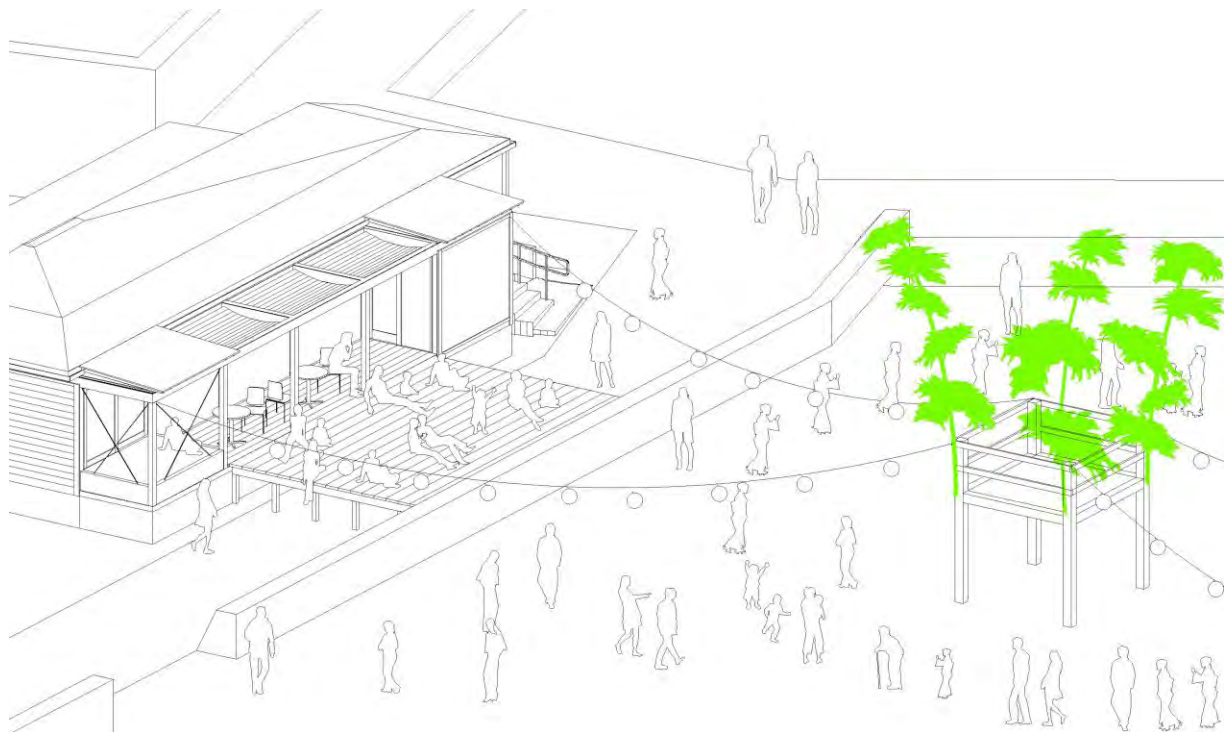
自然なコミュニケーションを妨げない、カウンターによる区画

屋外スペース



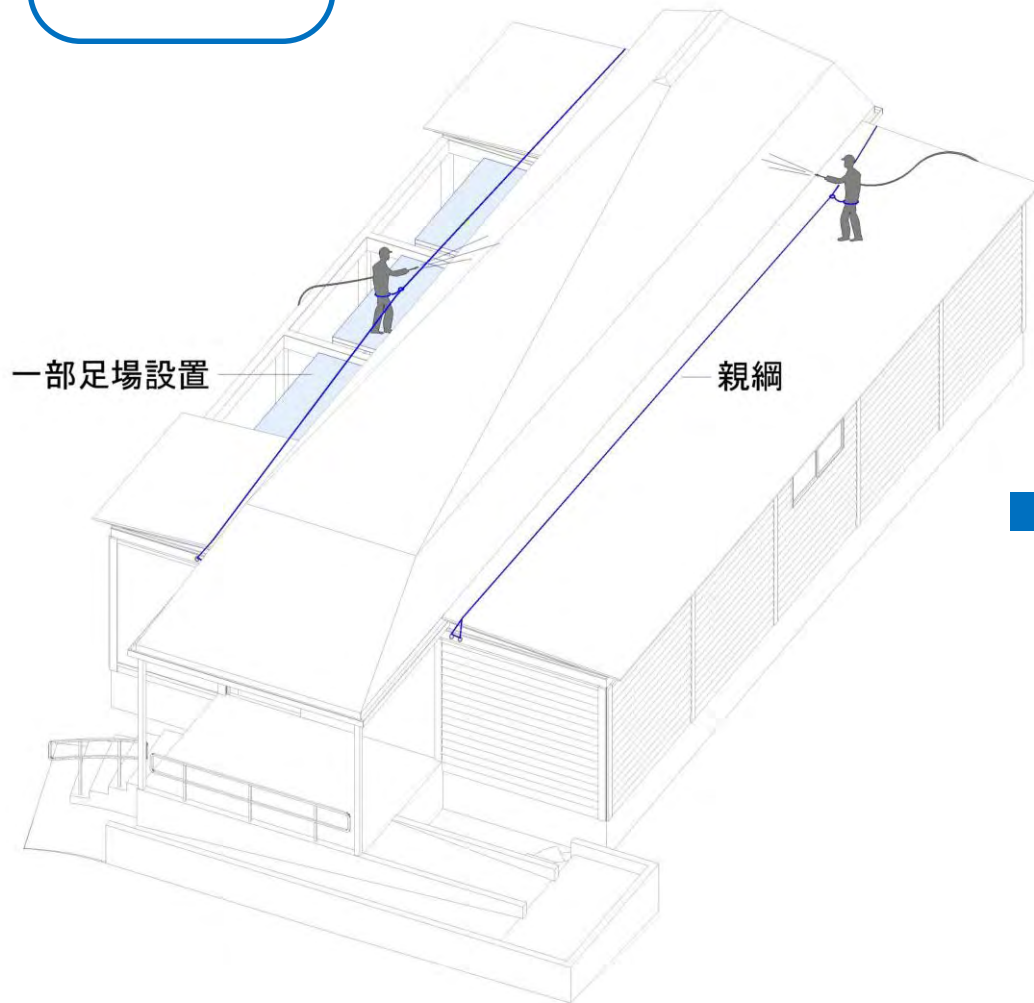
施設まわりの賑わいを生む、屋外スペース

屋外スペース



イベント時には様々な使い勝手、展開が可能

外装



■景観になじむ材料を採用します。

■メンテナンスを前提とし、再塗装のしやすい材料とします。

- ・外壁 : 木下見板張り
- ・開口部 : 木枠ガラス嵌め殺し中心
- ・屋根 : 耐候性処理鋼板

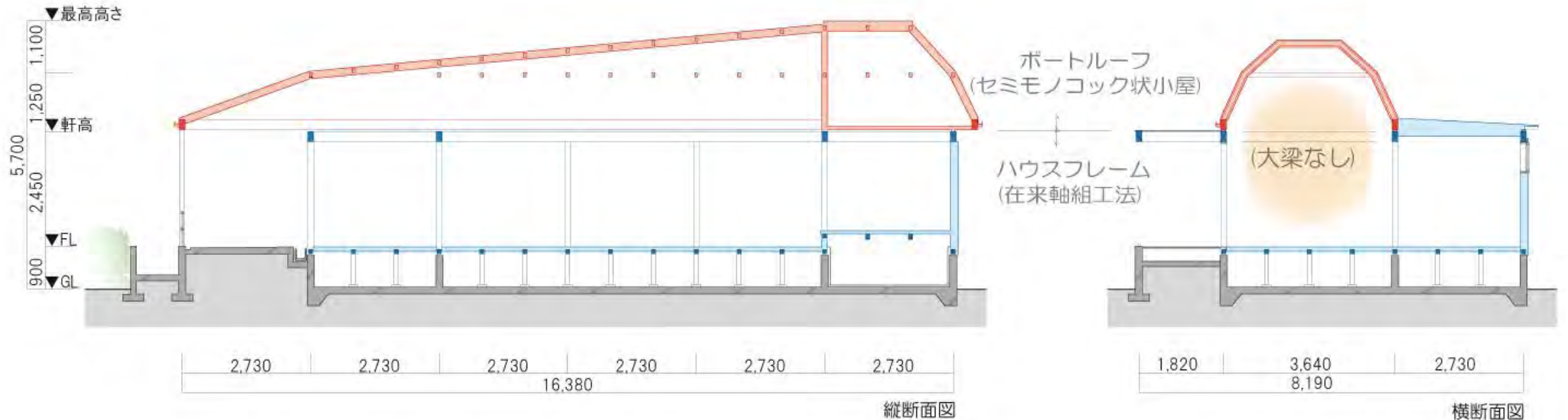
■メンテナンスの負担を低減する設計とします。

- ・軒高さ・建物高さを低く抑え、メンテナンス負担を軽減
- ・屋根の軽微なメンテナンス（洗浄、部分補修）には、緩勾配の下屋を利用したメンテナンス計画も可能

構造

構造設計の基本方針

- 在来軸組工法をベースとした、シンプルな構造形式。
- 特別な内部空間を実現する、船底型の小屋組。
- 厳しい風環境に耐えるよう、高さを抑える。（メンテナンス上も有利）
- 使用材料は、調達しやすい県産製材。
- 構造計算により耐震、耐風安全性を確保。

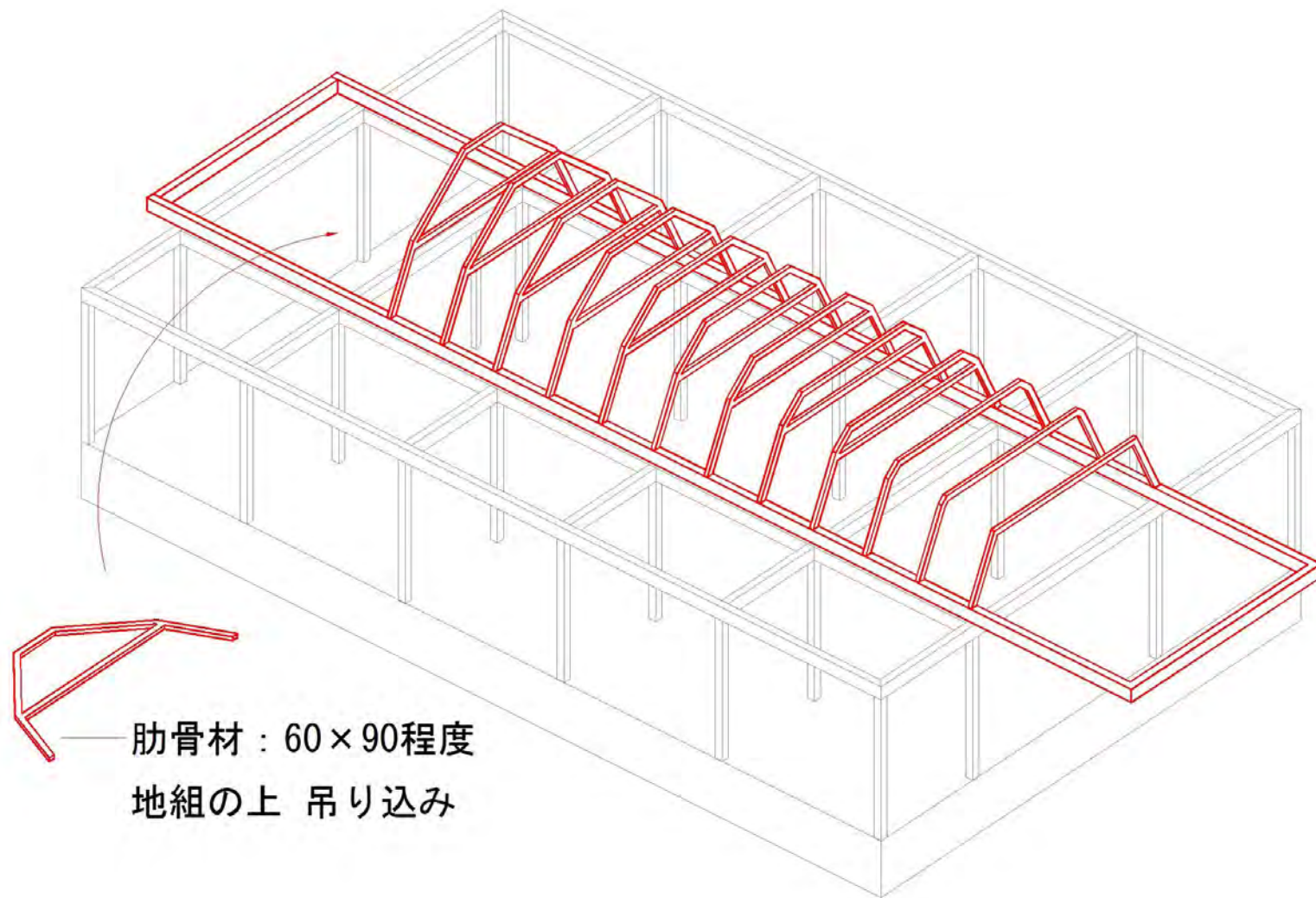




竣工時のみでなく、継続して大島に活力を与え「続けられる」拠点を創造します。

資料

ボートルーフ
詳細



ポートルーフ
詳細

屋根下地 :

木製肋骨材

内部側 :

杉板 t=35

外部側 :

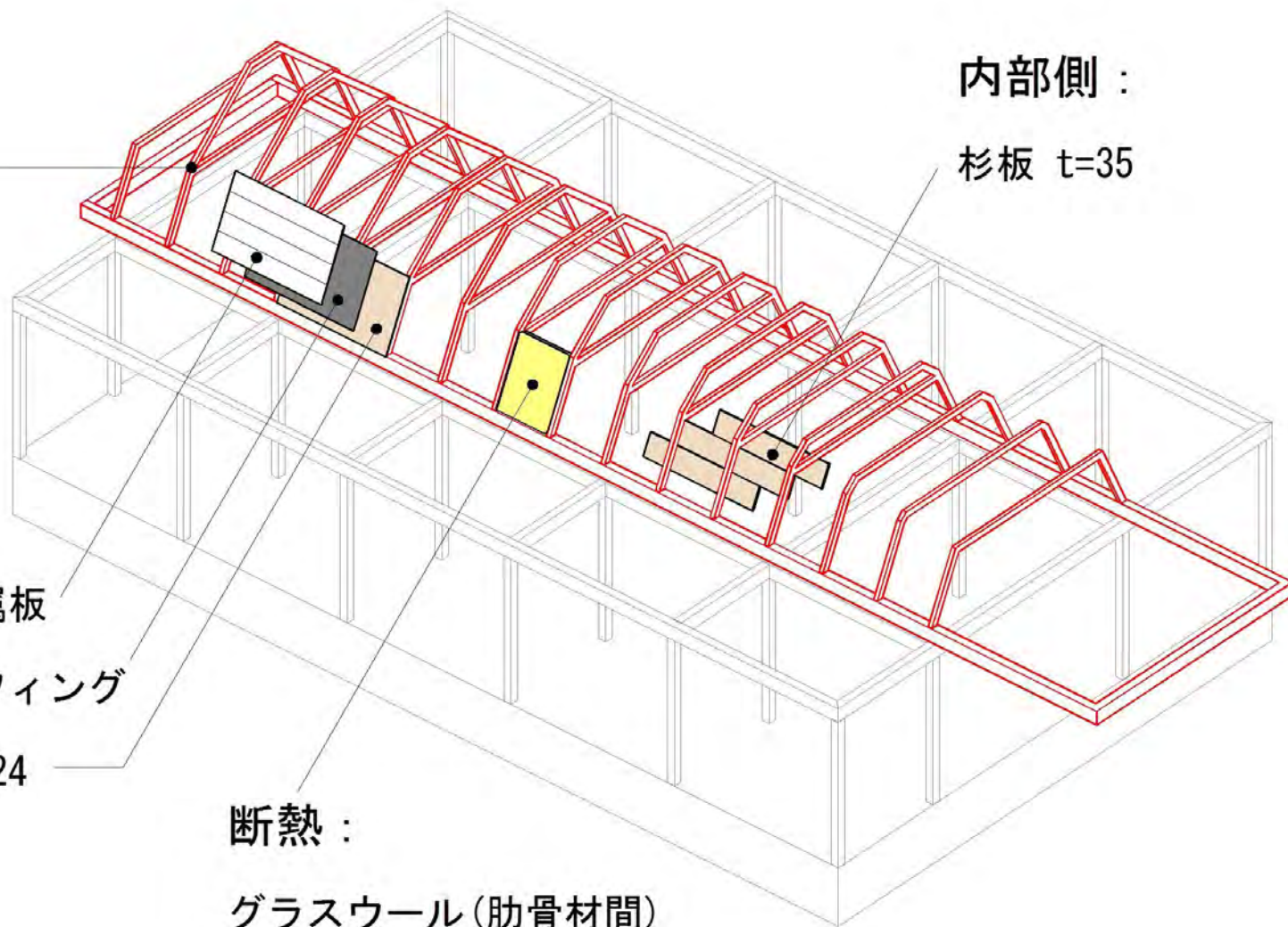
屋根葺材 : 耐候性処理金属板

防水 : 粘着層付ルーフィング

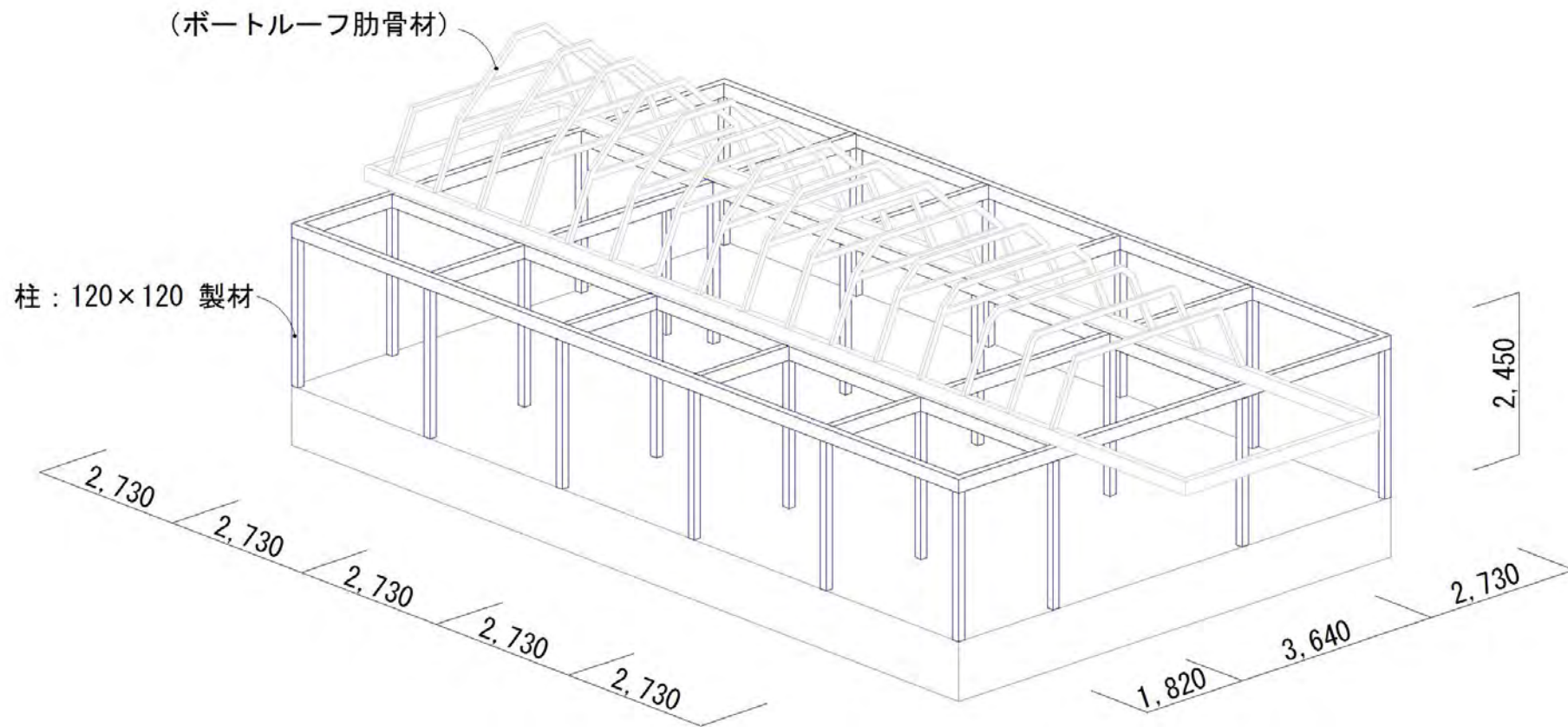
野地板 : 構造用合板 t=24

断熱 :

グラスウール(肋骨材間)



ハウス
フレーム
詳細



ハウス
フレーム
詳細

軸組 :

製材 (県産材)

外装 :

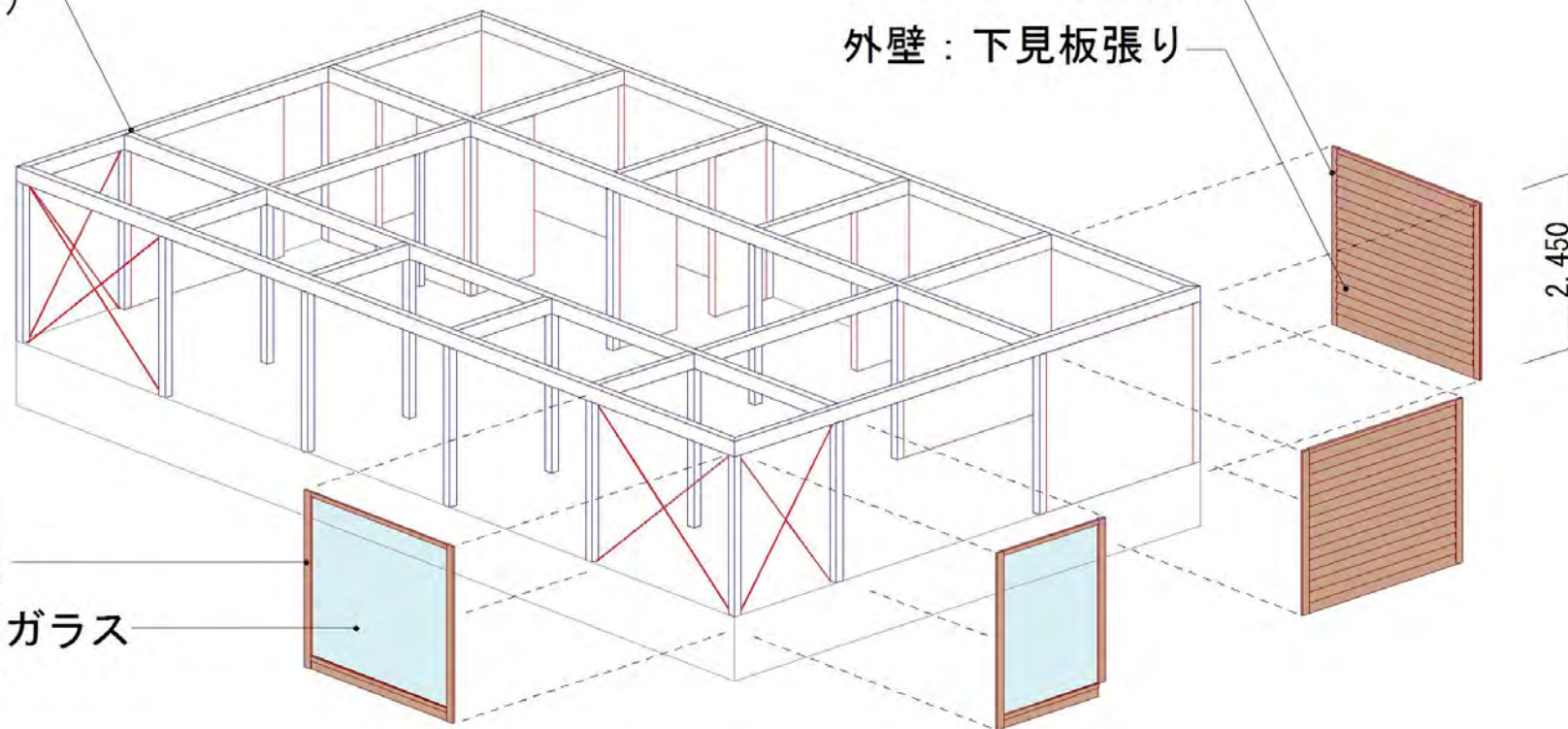
化粧フレーム : 木製

外壁 : 下見板張り

開口部 :

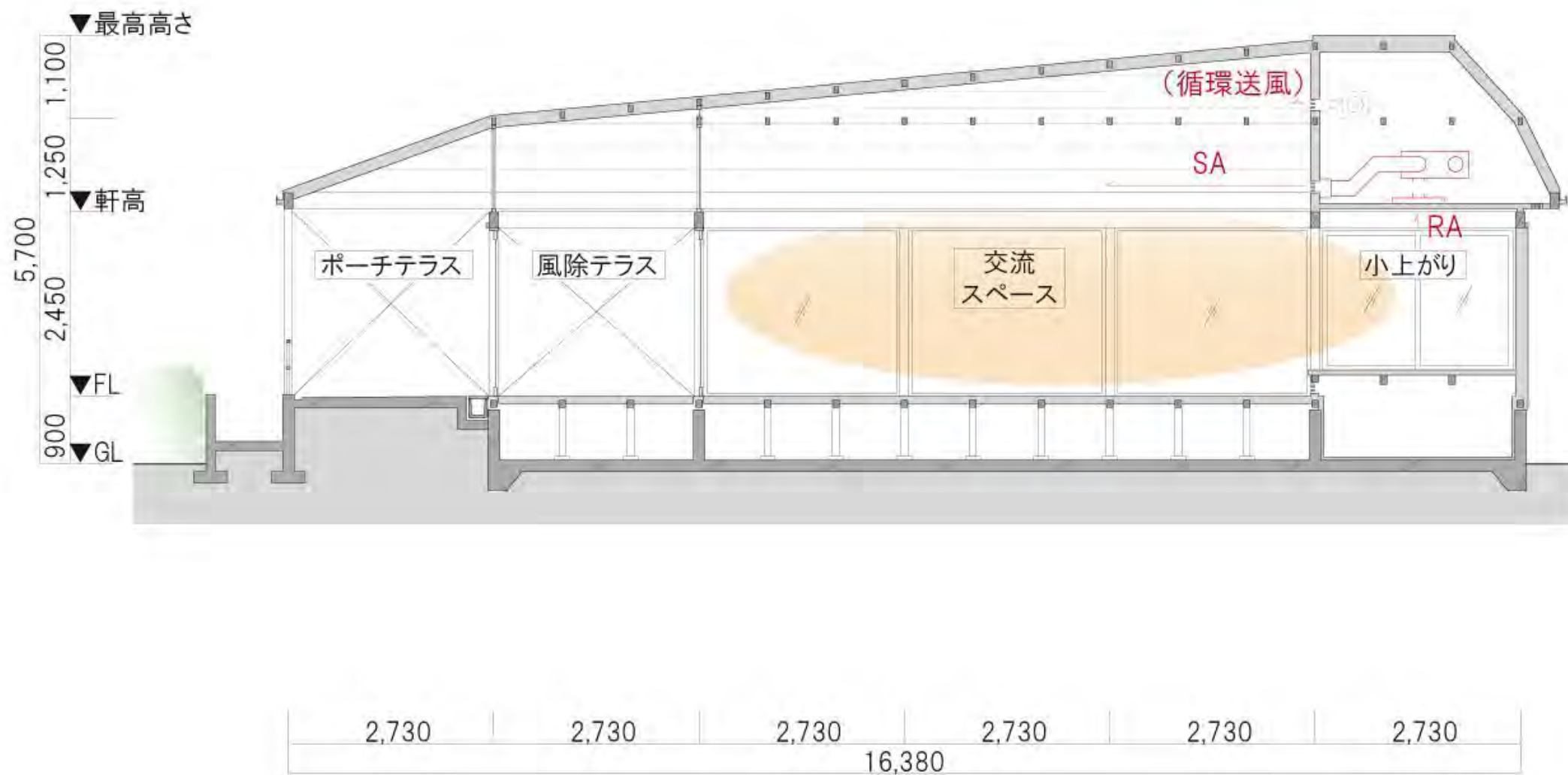
開口枠 : 木製

ガラス : ペアガラス



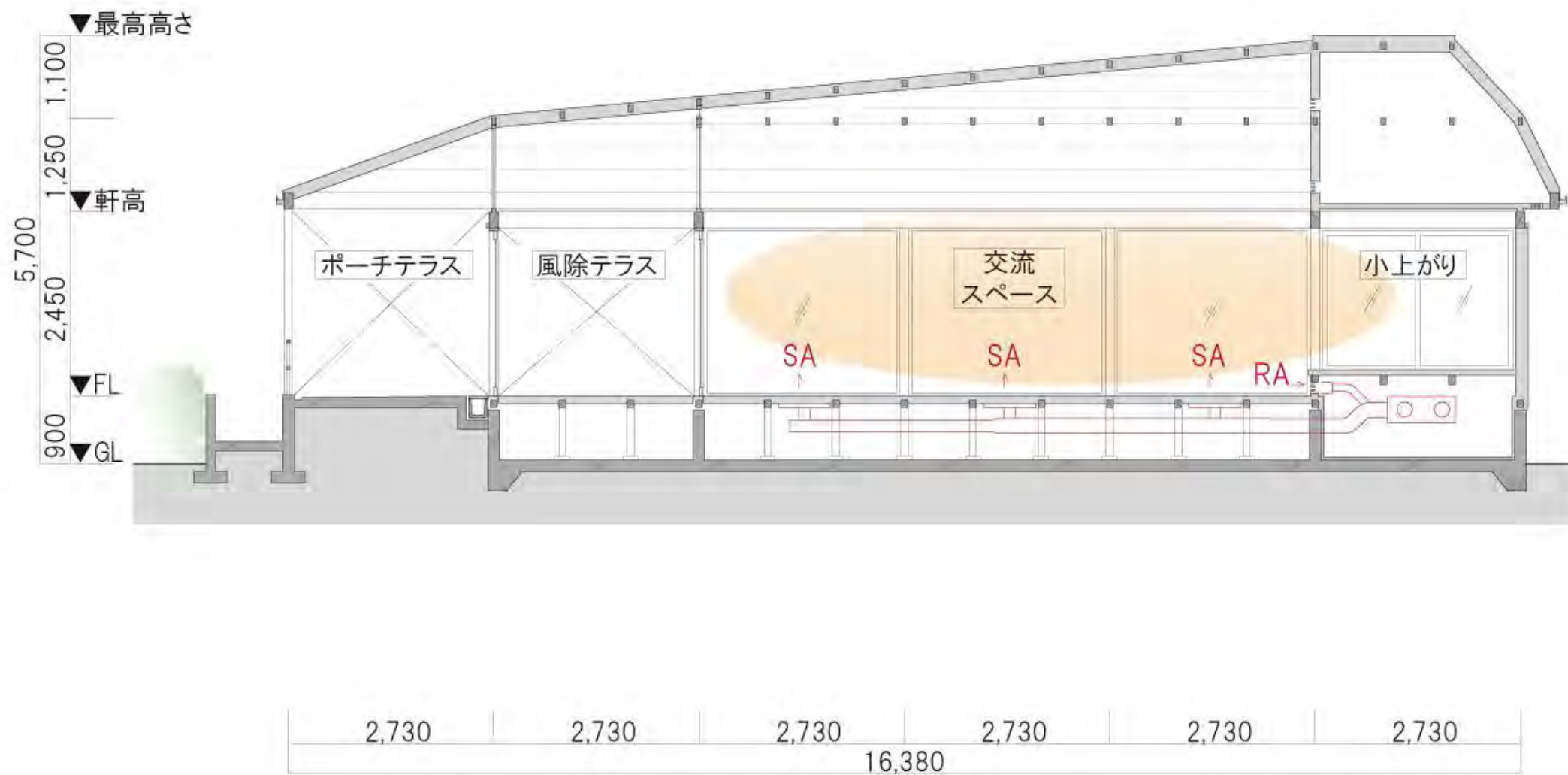
2,450

空調計画



空調模式図

空調計画



空調模式図









